

54

8 シートノック

(1) 補助員としてコーチ（背番号29・28）を認める。ダートサークル内に入る補助員はヘルメットを着用すること。・・・外野手と同じ

55

13 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたときには、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。塁上の走者が負傷した場合で、・・・

臨時代走は、試合に出ている9人の中から代走（打順の前位の者、ただし投手を除く）を認めて試合を進行する。

臨時代走の役割は、...（中

67

11 試合が開始されたら・・・

外野の方向へランニングすることを認めるが、控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることおよび、投手の準備投球に合わせて素振りすることを禁止する。(5.10(k))

ハ = 40
7 = 270

		(71) (新規)	10 学童部、少年部の試合においては、ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する
63	1 試合に出場する捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク・・・ファウルカップを着用すること。打者、次打者、走者およびベースコーチは、・・・。	(72)	1 試合に出場する捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク・・・ファウルカップを着用すること。なお、攻守交代等に伴い捕手が用具着用中に、控えの選手等が準備投球を捕球する際は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球すること。打者、次打者、走者およびベースコーチは、・・・。
63	3 サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手は使用できない。	72	3 サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。また、野手がサングラスを帽子の底の上に乗せることを認める。
64	8 バットは改造、加工したものは使用できない。	(73)	8 バットは改造、加工したものは使用できない。ただし、後付けのフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたなだらかな形状のもの

プロテクター
と同じ。

また、この場合、捕手は
フル装備とする

立って投げる、バットは2本持ち

71のバット
2本持ち
バット

(フレアグリップ)

フレアグ

フレアグ

投手の 12 秒及び 20 秒ルールの取り扱い基準

技術委員会

2020 年から採用した投手に関する「12 秒及び 20 秒ルール」の取り扱いに関する基準を以下に示す。

1. 12 秒及び 20 秒ルール

投手は、捕手、その他の内野手または審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には 12 秒以内に、走者がいる場合には 20 秒以内に投球しなければならない。

違反した場合、球審は走者が塁にいない場合にはただちにボールを宣告し、走者がいる場合は警告を発することとし、同一の投手が 2 度繰り返したら、3 度目からはその都度ボールを宣告する。

なお、塁に牽制球を送球したときは、20 秒の計時をリセットする。

2. 計時

計時は二塁塁審がストップウォッチを持って行う。(3 人制は三塁塁審)

3. 12 秒ルールの適用

① 走者がいない場合に適用する。

② 12 秒の計時は、投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面したときに始まり、ボールが投手の手から離れたときに終わる。

※投手が投手板についているかどうかに関係なく、打者の準備が整ったときに計時を始める。

③ 12 秒を経過したとき (13 秒になったとき)、二塁塁審 (三塁塁審) はタイムを宣告し、球審に 12 秒が経過したことを知らせる。

※二塁塁審 (三塁塁審) のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。

※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球した後のプレイは無効とする。

④ 二塁塁審 (三塁塁審) の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手及び守備側の監督に 12 秒ルールを適用したことを告げる。